

2011年3月22日

日本興亜損害保険株式会社

東北地方太平洋沖地震の被害に対する義援金について

3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震におきまして、被災された地域の皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

日本興亜損害保険株式会社（以下「日本興亜損保」、社長 兵頭誠）では、日本興亜保険グループの役職員有志を会員とする「日本興亜おもいやり倶楽部」とのマッチングにより、被災された方々の支援と被災地の復興のために、本日、義援金として日本赤十字社に600万円の寄付手続きを完了しましたので、お知らせします。

「日本興亜おもいやり倶楽部」における寄付とは
日本興亜保険グループの役職員有志を会員とするマッチングギフト制度で、会員が毎月の給与から拠出した金額に日本興亜損保が同額を上乗せして寄付を実施しています。

【ご参考】

- ◆ NKSJグループでは被災地支援のために、グループの全社員を対象に義援金を募集しており、日本興亜保険グループの社員も積極的に参加しています。
- ◆ 日本興亜保険グループの代理店からも、被災された方々の支援のために寄付を行いたいという声が多数寄せられていることから、日本興亜保険グループの代理店を対象として、義援金を募集する予定です。
- ◆ 海外における提携先からも共同での義援金や寄付の申し入れを受けており、検討しています。

以上